

第10回学校運営協議会報告 2025年2月17日

10回目の運営協議会は、今年度の振り返りと、次年度に向けて、以下の項目についての報告と意見交換が行われました。特に、学校評価報告書や保護者アンケートの内容を確認した上で、次年度の教育課程について検討しました。

- ・学校の取組（主に授業内容について）
- ・自己評価（学校評価報告書）
- ・保護者アンケートについて
- ・次年度教育課程について

第11回学校運営協議会報告 2025年3月10日

今年度最後となる11回目の運営協議会は、以下の項目についての報告と意見交換が活発に行われました。また、9回目の運営協議会で話題になった「卒業アルバム」について、問題の解消に向けた写真屋さんとの話し合いが進められていることが報告されました。

- ・令和7年度学校運営に関する基本的な方針について
- ・令和7年度学校運営協議会活動計画



コミュニティ・スクール2年目を終えて「熟議の先に見えた景色」



年間11回にわたる学校運営協議会を開催した学校は、果たして他にどれほどあったでしょうか。ただ回数が多ければ良いというわけではないものの、この数字は学校の本気度を如実に物語っています。

学校を取り巻く環境がますます複雑化・多様化するなかで、「地域とともにある学校」への転換は決して容易なものではありません。それでも、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育ていくため、私たちは対話を重ねてきました。毎回の協議会では、学校関係者・保護者・地域住民などが集まり、子どもたちの教育や学校運営について、まさに“熟議”そのものといえる議論を繰り広げてきました。

頻繁な会議は負担にもなり得ます。議論が白熱し、会議時間が延長することも少なくありませんでした。しかし、それは「子どもたちにとってより良い学習環境をつくりたい」という学校の真剣な思いと熱意があったからこそ。学校のその姿勢に応えるべく、私たち委員も使命感を持ち、信頼関係を深めながら議論を重ねることができました。

また、会議にとどまらず、授業や施設、行事、保護者会、ステップルームなど、教育の現場を丁寧に視察する機会も得ました。実際に学校の取り組みを肌で感じることで、より深く学校を理解し、「もっと学校の考えを保護者や地域に届けたい」と強く思うようになりました。そうした思いが原動力となり、「ごきげんな学校だより」の発行へとつながったのです。

特に、上ノ原小学校では「授業力向上」「地域との連携」「美しい環境づくり」に力を入れて取り組んできました。そして次年度の重点課題として、「挨拶を核とした基本的生活習慣の定着」「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」「コミュニティ・スクールの取組」が掲げられています。これまでの2年間を踏まえ、令和7年度の教育課程においても、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有しながら学校運営に取り組み、コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校づくり」をさらに推進していく方針です。

熟議を重ねることで築かれた信頼と、学校の熱意がもたらした変化。その先に見えてきたのは、ごきげんな学校の実現に向けた確かな道筋でした。



あらためて「ごきげんな学校」とは

上ノ原小学校が目指す学校像（ビジョン）は、「ごきげんな学校」です。

「ごきげん」とは、心が穏やかで前向きな状態のことを指します。反対に、「ふきげんな学校」を想像してみるとわかりやすいかもしれません。イライラしたり、不快なことが多い環境では、心が落ち着かず、良い状態を保つことが難しくなります。

一方で、「ごきげん」でいられる学校では、自分自身を大切にしながら、周りの人にも優しく接することができます。そんな「ごきげんな学校」を実現するために、大切なポイントを以下にまとめました。これらの要素が相互に作用し、「ごきげんな学校」の実現に寄与しています。

●ごきげんな学校

児童にとっての喜び：

学んで分かる喜び、友達との関わりによる喜び、自分の成長を実感できる喜びなど、日々の学校生活における楽しさを重視しています。



保護者・地域にとっての安心感：

教育活動の積極的な発信や迅速で丁寧な対応を通じて、保護者や地域が安心して子どもを任せられる環境を整えています。



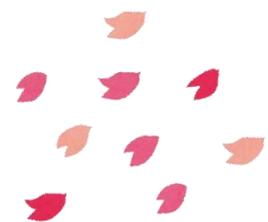
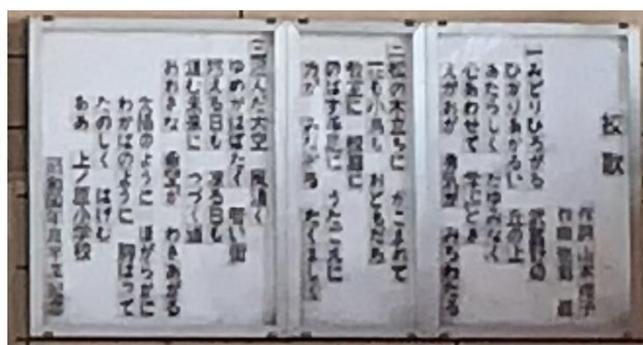
教職員にとっての働きやすさ：

風通しの良い明るい職場環境を提供し、教職員が自らの成長を実感できるような取り組みを行っています。



●校歌や地域の雰囲気にもマッチ

上ノ原小学校の校歌は「みどりひろがる 武蔵野の ひかりあかるい丘の上」ではじまり、「太陽のようにほがらかに わかばのように 胸はって たのしくはげむ ああ 上ノ原小学校」で終わります。上ノ原小学校の特徴を示した校歌の歌詞にも“ごきげん”のニュアンスがマッチしています。



出逢いとお別れの季節

3月22日の上ノ原小だより臨時号に、今年度いっぱい上ノ原小学校を去られる先生方が掲載されました。今まで上ノ原小学校の教育を支えてくださった先生方、ありがとうございます。今後のさらなるご活躍をお祈りいたします。学校運営協議会は、学校の目標やビジョンを地域や保護者と共有しながら策定・推進していきます。そのため、先生方が異動しても、学校としての方針や取り組みが一貫して維持されやすくなります。新しく赴任した先生方も、協議会を通じて学校の教育目標や地域との関係性を理解しやすくなり、スムーズに適応できます。学校運営協議会のこうした仕組みが、先生方の異動による影響を最小限に抑え、より安定した教育環境を実現するのに役立っています。